



大傳の女の巻三 上巻



種彦福園の巻

# 犬傳犬迺草紙

この巻  
セもイカ板



一

多き物伊勢屋箱舟の何やらと八府下俗間の常語を伊勢人々  
 辛抱つゆ、儉約と守りそ且愚たうねハ大江戸小出稼ぐ者十人が十人  
 家と起す故不暖簾八日増殖稻生ハ五穀を生くる神靈新道の  
 露地小も鎮祀ねハ敬神の風俗餘國に勝せ河當地の繁昌  
 萬代不易満て溢る餘の恩澤ゆきと犬も腹が福連て彼何やうも  
 多いと云ふ予も年来此餘沢家りながも伊勢ならぬ尾張産ハ懶惰が  
 持前野狐ぢらねと屢尾と見せ犬の草紙ハ綴ても畢竟他の禪  
 みて勝ても負ても苦ハあけれと流行ハ名作大江戸の花草冊子  
 編數の多いものとのあらハこゝら下らぬ四十三編今茲も異らず  
 鈔録の序殺伐あ緒言と物もあ

文久二年孟夏發元

柳亭種彦



犬の目三

三三

芝屋八郎景純  
芝屋八郎景純

養田權頭素謙  
養田權頭素謙

味  
かき  
かき

か  
か  
か

か  
か  
か

か  
か  
か

か  
か  
か

里見御曹子義通  
里見御曹子義通



大江親兵衛  
大江親兵衛

大の四十三

第六回

青い波と平せと京能給村の来り  
黒い波と他と日更諸信錦山平く

里見の次郎のうまひ

里見の次郎のうまひ... 日更諸信錦山平く... 京能給村の来り... 黒い波と他と...



音... カ... 京能給村の来り... 黒い波と他と...



寶... 京能給村の来り... 黒い波と他と... 日更諸信錦山平く...



木ノ下ノ  
山ノ影  
鳥ノ鳴  
風ノ吹  
水ノ流  
雲ノ巻  
霧ノ散  
雨ノ降  
雪ノ積  
雷ノ轟  
電ノ閃  
火ノ燃  
土ノ崩  
石ノ落  
月ノ出  
星ノ現  
日ノ出  
夜ノ下  
春ノ来  
夏ノ来  
秋ノ来  
冬ノ来

南ノ  
親ノ  
子ノ  
孫ノ  
臣ノ  
民ノ  
士ノ  
農ノ  
工ノ  
商ノ  
士ノ  
農ノ  
工ノ  
商ノ  
士ノ  
農ノ  
工ノ  
商ノ



木ノ下ノ  
山ノ影  
鳥ノ鳴  
風ノ吹  
水ノ流  
雲ノ巻  
霧ノ散  
雨ノ降  
雪ノ積  
雷ノ轟  
電ノ閃  
火ノ燃  
土ノ崩  
石ノ落  
月ノ出  
星ノ現  
日ノ出  
夜ノ下  
春ノ来  
夏ノ来  
秋ノ来  
冬ノ来

親ノ  
子ノ  
孫ノ  
臣ノ  
民ノ  
士ノ  
農ノ  
工ノ  
商ノ  
士ノ  
農ノ  
工ノ  
商ノ  
士ノ  
農ノ  
工ノ  
商ノ



美言の  
 義言の  
 画て出て  
 可トさる  
 けれが  
 誠言の國と省く

美言の  
 義言の  
 画て出て  
 可トさる  
 けれが  
 誠言の國と省く



墳墓の  
 義言の

義言の  
 義言の  
 義言の





山形  
祭  
の  
囃  
子

山形  
祭  
の  
囃  
子

山形  
祭  
の  
囃  
子

山形  
祭  
の  
囃  
子

山形  
祭  
の  
囃  
子



山形  
祭  
の  
囃  
子

山形  
祭  
の  
囃  
子

山形  
祭  
の  
囃  
子

山形  
祭  
の  
囃  
子

山形  
祭  
の  
囃  
子





瑞々

東  
西  
夜行小道  
感不奇



瑞々

東  
西  
夜行小道  
感不奇

大正四年



Handwritten text on the left page of a notebook, organized into several columns. The script is a cursive Japanese style. At the bottom of the page, the word '終' (End) is written.

Handwritten text located at the top of the right page, above the illustration. It includes several lines of cursive Japanese script.



Handwritten text to the left of the illustration, consisting of several lines of cursive Japanese script.

Handwritten text positioned below the illustration, continuing the cursive Japanese script.

Handwritten text at the bottom of the right page, below the illustration, in cursive Japanese script.

北の四十三

國綱画



ついでにのちのち  
 東のうきさまでか  
 かけあつたれぬたき  
 やしののちさかひ  
 あはれをさかひさか  
 さうな国のもつて  
 あたまに入らば  
 ちかよきつゆひに  
 かわらぬ  
 心を  
 かひられり  
 めざしきもの  
 まよふ山にまよふ  
 さかやのうきさか  
 かなふもつたぬ  
 ふりまき  
 まるのふりまきの  
 三つもつて

# 柳亭録

ひまの  
 まよふ  
 かなひり  
 まよふ  
 かなひり

木家  
**實母散**  
 三つせんごころ  
 一切の切景  
 中橋南傳馬町  
 千葉堂孝輔製

## 柳蔭月朝妻

四編より 山々亭有人作  
 九編迄 梅朝樓國貞画

## 藪黄鶡八幡不知

山々亭有人作  
 錦朝樓芳市画

當春賣出  
 賣捌  
 兼  
 念

